

# 有機農業生産力向上に向けた取組

道南有機農業ネットワークと連携した有機農業推進

令和5年度実績  
(3~7年度計画)  
広域クリーン・有機



函館蔦屋書店「マルシェ」

## 【道南有機農業ネットワーク】

- ・平成23年7月、渡島、檜山管内の有機農業者等を中心に設立。
- ・研修、情報交換により会員の技術力、経営力向上を図るとともに、消費者交流を通じて有機農産物の魅力をPRし、普及拡大を目的として活動。
- ・振興局、普及センターは事務局としてネットワーク組織活動を支援。
- ・[主な活動実績]  
函館市の蔦屋書店とコラボした「マルシェ」開催(H27~R2)  
コープさっぽろ「食べる・たいせつフェスティバル」出展参加(H24~)等

## 【参考】渡島管内有機JAS認証事業者数、道南有機農業ネットワーク渡島会員数(令和6年2月現在)

		函館市	北斗市	松前町	福島町	知内町	木古内町	七飯町	鹿部町	森 町	八雲町	長万部町	渡島 計
有機JAS認証事業者	農業者	1	2					5		2	2		12
	その他	1	1								1		3
道南有機農業ネットワーク	農業者	6	2					6		3	1		18
	その他	2						1					3

※有機JAS認証事業者は有機飼料生産行程管理者を除く

## 【課題設定の背景】

- ・管内の有機JAS認証事業者(農業者)数は、令和6年2月現在12件と、近年横ばい~漸減で推移。
- ・後継者不在の経営は、高齢化に伴い取組が縮小傾向にある。
- ・培われたノウハウや販路の継承に、今後支障が生じる懸念も出ている。

- ・近年、函館圏を中心に小売、道内外バイヤー、地元企業(主に加工用途)等による有機農産物の引き合いは比較的安定して強く、個人経営のオーガニックショップ等も増加傾向にある。

- ・管内の有機農業者は多くが小規模家族経営で、労働力がボトルネックとなり増産は難しい。

国際水準の有機農業推進(新規参入促進)による地域的な生産力向上へ

## 【広域ネットワークとしての取組】

### 消費者交流(有機PR、食育)

- ・コープさっぽろ主催の消費者交流イベントに参加
- ・有機農産物や加工品の展示販売を通じて来場者と交流、有機農業の魅力を紹介



食べる・たいせつフェスティバル  
9/16函館市

### 会員の技術力・経営力アップ

- ・夏：アイガモロボット導入効果をテーマに現地研修
- ・冬：令和5年の高温を顧み、農業気象と今後懸念される病害虫をテーマに座学研修



冬期研修会「農業経営に役立つお天気講座」他 2/26北斗市

## 【渡島独自の取組】

### 販売力向上(販売環境整備)

- ・会員及び大手小売チェーン有機商材担当者の意見交換会開催、マッチングにも
- ・新たな商材開発、販売展開につながる可能性を期待



渡島有機農業者とバイヤーとの意見交換会 11/10北斗市

### 新規参入受入体制整備

- ・管内の環境保全型農業直接支払交付金実施市町と連携
- ・地域に適した有機導入類型と経営指標を提案し、経営計画作成を支援

### 有機農業導入類型・経営指標(R5森町版、内部資料)

項目	標準値	目標値	現状値	評価
1. 生産者				
2. 生産者				
3. 生産者				
4. 生産者				
5. 生産者				
6. 生産者				
7. 生産者				
8. 生産者				
9. 生産者				
10. 生産者				
11. 生産者				
12. 生産者				
13. 生産者				
14. 生産者				
15. 生産者				
16. 生産者				
17. 生産者				
18. 生産者				
19. 生産者				
20. 生産者				

■今後の対応 道南有機農業ネットワークと連携したこれらの取組を継続する